

全国からの温かいご支援に、心から感謝申し上げます

全国から八代へ 復旧・復興を支える「派遣職員」

令和 8 年熊本地震震災以降、全国の自治体などから、多くの職員が本市の復旧・復興を支えるために派遣されています。

受援状況（これまでの受入延べ人数） ※10月13日現在

期間	避難所運営	保健師業務	住家被害認定調査	り災・被災証明受付	その他	計
7/29～10/13	4,905	2,279	6,452	469	1,195	15,300

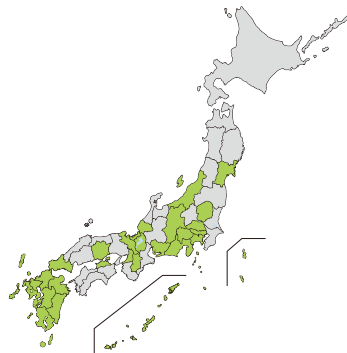
※業務区分「その他」は、応急住宅申請受付、災害ボランティアセンター、災害ごみ仮置場、公費解体など

地方自治体

宮城県	栃木県	埼玉県	東京都	神奈川県
新潟県	福井県	山梨県	長野県	静岡県
愛知県	滋賀県	京都府	大阪府	奈良県
岡山県	山口県	香川県	福岡県	長崎県
大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	熊本県

その他	国税局、九州農政局、林野庁九州森林管理局、法務省九州矯正管区、九州財務局
-----	--------------------------------------

※国土交通省、陸上自衛隊、警察、消防、日本水道協会などの機関は掲載しておりません。



避難所に安心を届けてくださった「災害医療・福祉の派遣チーム」

団体名	活動内容
日本赤十字社	診療・健康相談、環境整備など
TMAT (特定非営利活動法人TMAT)	
ジャパンハート	
NHO (国立病院機構 医療班)	
JMAT (日本医師会災害医療チーム)	
DMAT (災害派遣医療チーム)	診療・各種支援団体の調整
災害支援ナース	健康相談、環境整備など

団体名	活動内容
JDA-DAT (日本栄養士会災害支援チーム)	食事にかかる要配慮者の抽出及びフォロー、食環境の整備
JRAT (災害リハビリテーション支援チーム)	生活不活発病予防のための環境整備、体操
DICT (災害時感染制御支援チーム)	感染症予防にかかる環境整備等
JDAT (日本災害歯科支援チーム)	口腔ケアにかかる物資支援・啓発など
DWAT (災害派遣福祉チーム)	環境整備、福祉ニーズの個別支援など
DPAT (災害派遣医療チーム)	心のケア、精神医療支援
八代市災害支援チーム	環境改善、運営支援

支援者の声

8 月 1 日に現地入りした、青森から沖縄の医師、理学療法士、作業療法士などで構成されるチームです。

避難所のバリアフリー化を進め、福祉用具を活用しながら、自宅と同じような生活ができるよう整備しました。また、1 日数回の体操や清掃活動で生活不活発病の予防に努めています。

10 月 12 日までの活動後は、熊本県復興リハビリテーションセンターに引き継ぎ、仮設住宅などに移住された後も支援を継続します。



JRAT 熊本県災害リハビリテーション推進協議会事務局 次長 佐藤 亮様



八代地域で活動中のJRATの皆さん

被災された方の声

発災直後に防衛省フェリー「はくおう II」が来てくれたことに感謝しています。地震で怪我をしましたが、船内で医療支援を受けることができ、大変助かりました。

自衛隊の皆さんの親切な対応で、心身ともに支えられました。船内のお風呂から見える八代海の景色は、片付けの疲れを癒してくれました。

また、日々の市長メッセージも励みになっています。皆さんの支援に感謝してもしきれません。



川上 順次郎様、川上 和子様



防衛省フェリー「はくおう II」の出港見送りの様子



写真②



写真①

9 月 30 日（水）、天皇皇后両陛下は、令和 8 年熊本地震による被災地のお見舞いのため、八代市、氷川町および宇城市をご訪問になられました。

両陛下は、自衛隊ヘリで熊本空港から球磨川河川緑地へ移動された後、日本製紙八代工場をはじめとした、被災地へ黙礼なされました（写真②）。

その後は、避難所となっている桜十字ホールやつしろをご訪問され、避難されている方々にお見舞いの言葉をおかけになられるとともに（写真③）、災害対応に尽力された方々をねぎらわれました（写真①）。

沿道には、多くの方がかけつけており、歓声が沸き起こる中、両陛下は手をお振りになられていました（写真④）。

（写真提供：熊本県）



写真④



写真③

天皇皇后両陛下 八代市をご訪問